

## 設計・計画部門



## 久保 久志

生年月日 1980年9月奈良県生まれ  
最終学歴 2005年三重大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了

業務経歴 2005年(株)東畑建築事務所入社  
現在、名古屋オフィス設計室主任技師

## ●担当した主なプロジェクト

2007年 長久手町青少年児童施設  
2010年 若狹町立三方中学校エコ改修  
2011年 豊田市立土橋小学校エコ改修  
2012年 新城市立黄柳川小学校  
2013年 豊田市立浄水北小学校

## ●受賞

2014年度日本建築学会教育賞（教育貢献）（土橋小学校エコ改修）  
平成26年度木材利用優良施設表彰  
農林水産大臣賞（黄柳川小学校）  
第42回中部建築賞一般部門特別賞（三方中学校エコ改修）

## ■青年技術者のことば

一設計者として、自ら設計して建ちあがった建築が、機能的で、強く、美しいと称讃されることに喜びを感じないものはない。ただし、その建築が竣工して数年経ち、どんな理由があつたにしろ、利用者にうまくつかわれていない、満足されていないことは互いにとって不幸なことだ。解決のための特効薬などない。自分なりに実践を重ねて出した答えは「つくりかたを少し変えること」。設計中には、利用者は設計者と一緒に、そこで何をしたいかを考え、そのために必要なもの（ハード）を考える。設計者は利用者と一緒に、思い描いたように使うためのルールやしきみ（ソフト）を考える。利用者まかせとは言わずにだ。工事中には、一緒に壁を塗ったり、タイルを貼ったり、ときには活動を前倒して竣工を待つ。運用が始まれば、マニュアルだけに頼らず、うまく使いこなせるようきちんとサポートする。利用者に寄り添い、「一緒に考えつくること・つかうこと」。使いこんだ辞書に愛着がわくように、使えば使い込むほどに愛着がわく「育てる建築」をこれからも変わらず目指したい。

## ■すいせん者

瓦田伸幸  
(株)東畑建築事務所 執行役員  
名古屋オフィス 代表



## 豊田市立土橋小学校エコ改修

校舎の回遊性の向上や地域材を使った内装の木質化等の学習環境の改善、校舎の内断熱化・風の道形成・日射遮蔽等の温熱環境の改善、それらを積極的に見える化し、環境教育プログラムと連動させた校舎の教材化を図った。児童と協働したトイレは、エコをテーマにしたイラストをモザイクタイルで表現し、華やかに生まれ変わった。現在、ESD（持続発展教育）の視点を取り入れた児童の成長に即した環境教育を通じ、校舎の環境配慮の工夫や原理、魅力を下級生や来校者に伝え広める「子どもエコガイド」の育成を行っている。



## 新城市立黄柳川小学校

敷地北側を流れる黄柳川沿いに東西に伸びやかに建ち、日当たり・風通しに最大限配慮した。形態はまちの豊かな自然環境、四季折々の美しい風景になじむ簡素でシンプルな表現を心掛けた。周辺の山並みや家並みに合わせた切妻屋根、地域材で設えた下見張りの木壁は、この地区の昔からの風景をかたちづくる構成要素である。また、地域と学校の交流の場、円形多目的ホールのとんがり屋根は地域のシンボルとなっている。



構造部材・内外装材には日本有数の強度・美観をほこる「三河杉」を800m<sup>2</sup>使用し、建設で使われた90%以上の木が地域材となっている。